

3Dブラウザマッピングで解決する有害鳥獣増加対策（仮）

- 住む 癒す 学ぶ
 動く 楽しむ その他

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

「3D可視化による有害鳥獣の増加の解決」(サル、ハクビシン、イノシシなど)

→3D都市データ、ブラウザによるデータマッピングなどの最新技術を活用することで、これらの課題を解決し、地域住民の安全と財産を守り、持続可能な地域社会の実現を目指します。

②提案の概要

1. 被害状況の可視化と情報共有

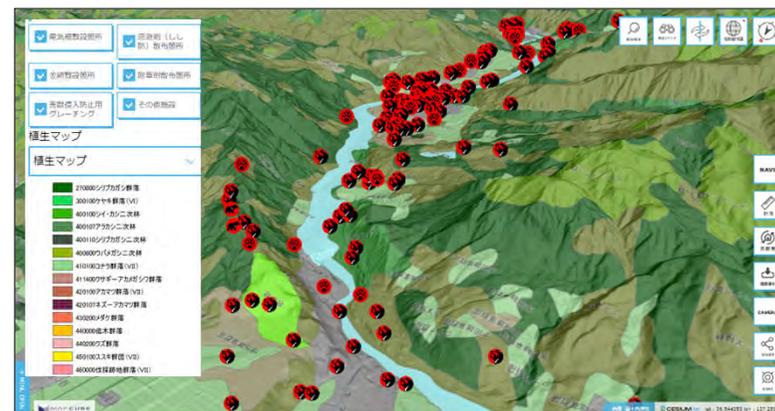
ドローンで撮影した被害状況を3Dデータ化し、ブラウザで可視化することで、被害状況をリアルに把握。GISを活用し、被害状況や対策情報を関係機関と共有し、連携を強化。

2. 効果的な対策計画の立案

3D都市データと被害状況データを重ね合わせ、遮蔽物や地形を考慮した効率的な対策計画を立案。

3. データ分析による対策効果検証

GISを活用し、対策実施前後における被害状況の変化を比較分析し、対策効果を検証。



③事業実施に対し必要な要件

- (必須要件ではないが)Plateauが整備されているとなお良い
- ドローン撮影・センサー・電気柵等フィールド業務の企業との協業
- 事業の周知を図るための広報活動、ワークショップの開催

④想定スケジュール

- 令和6年度にブラウザシステムを制作→令和7年3月中間発表
- 令和7年度に職員研修、住民共有ワークショップなど実施

⑤地元企業等とのマッチング希望

- あり なし

会社名 : 株式会社キャドセンター